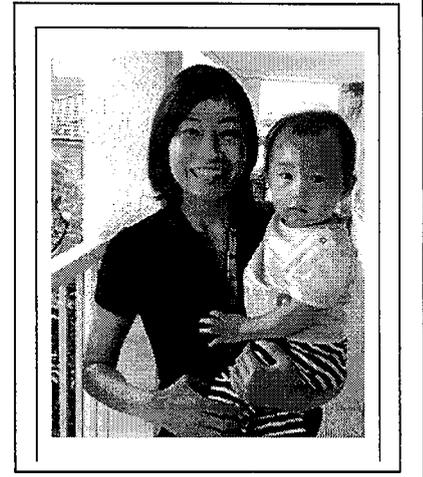


久坂くにえ通信

昭和 48 年 2 月生まれ 0 型 聖心女子大学文学部英文学科卒業
議会運営委員会所属、文教常任委員会委員長、
関東若手市議会議員の会・神奈川ブロック会長 新・かまくら民主の会所属



第40号2010年3・4月

地方議会が議院内閣制となる日？

総務省の地方財政検討会議が開催されたと以前報じられました。同会議では、地方議員を自治体の幹部(副市長や、部長?)に登用できる、地方版議員内閣制の是非なども、検討されるということです。

その心は、議会の活性化。国でも行われている政治主導を、地方でも実現させること。また、行政側に議員をおく事によって、総与党化している議会を二大政党化させ、議会における審議の活発化が目的という意見があります。が、鎌倉市のように必ずしも総与党化という表現が妥当でない議会ではどのような効果があるのかは未知数です。

同会議では 11 月に一定の方向性を打ち出し、来年の通常国会へ地方自治法の改正案の提出を目指すという事です。地方議会が議院内閣制となる日が来るのもそう遠い未来ではないかもしれません。

しかし、その前にまずできることから着手する議会改革が私たち議員に求められている事はいうまでもありません。

■ 「私」が鎌倉に生まれて一体何を思うのか～代表質問要旨(1)～

2月17日から始まった2月定例会。新年度予算議案などについて、代表質問を行いました。

今回は「私」という人間が鎌倉に生まれてから一体何を感じるのか、どういった成長の時間軸を元に、質問を行いました。

次年度入園希望者がさらに増加した保育園の待機児童対策のさらなる推進を求め、また国から削減された幼稚園通園に対する就園奨励費を前年並み実施することを求め、病児保育の新規実施を要望しました。また教育環境向上のため、特別教材、修繕費など教育関連費用のてこいれを提言し、小中一貫教育の推進のため適切な情報提供を求めました。

いつまでも健康に暮らせる環境づくりのため、介護予防教室の実施拡大を要望し、介護保険の支払いの負担を減らすため、稲城市などで実施されている介護ボランティアの実施を提案しました。(自分が介護ボランティアを行った分、介護保険料が割引される制度)また一人暮らしや、高齢者の方のみの世帯など見守りのネットワークづくりなど安心して暮らせる環境について方針を確認しました。

ミニコラム
前回の議席編に
続き、今回は
議会棟の控室が
変更になりました
とお知らせ(←大げさ)
議場
大量の本と書類を事務局に
感謝です
何往復した事か...

■ 仕分けはどうする？～代表質問要旨(2)～

国でも注目を集めた事業仕分け。仕分け自体は大変有用でしたが、目標の削減額に及ばなかった事、また仕分けた後でも、重要施策についてはきっちり予算配分をする必要があるのでは、というのが私の事業仕分けについての実感です。

次年度鎌倉市で実施予定の事業仕分けは、外部委託により行い、その結果について市民意向調査も併せて行うとのこと。また職員の意識啓発と財源確保が目的ということが答弁によって明らかにされましたが、全事業を対象とせず、限定された事業に対する仕分けによってどこまでその効果を期待することができるか、大変難しい取り組みです。

また、鎌倉が各調査でも高い評価を受けている環境政策の取り組みについては、市でも導入した電気自動車の民間への普及を図るため、急速充電器のインフラ整備や、購入への補助などを求めました。

また緑地保全に関して、緑の基本計画実施を担保する財源確保をどう図るのか確認しました。

全般的に前向きな答弁は少なく、税収 10 億減という苦しい台所状態もその背景の一つと考えます。

前頁
ミニコラム フジキ
なぜ引越しい？
1人あたりの㎡が
決まっており、他会派の
構成が変わったから
ですか
見て
はあ、
未だに手つかずの山



■ 口でいうほど簡単じゃない！？ハードルの高い広域化の取り組み

全国各地で広域化の取り組みが進められています。具体的には複数の市町村などで、消防、ごみ処理、医療体制などの事業を連携し、進めることです。スケールメリットによる経費縮減などが期待されています。

鎌倉市では逗子市とごみ処理広域化に向けて協議を続けていますが、遅々として協議は進みません。なお逗子市では12月に首長選挙が実施される予定で、その結果によっては再度広域化の話し合いに影響がでるおそれもあります。

ちなみに神奈川県で策定した消防広域推進計画では、鎌倉市は湘南地域か三浦地域どちらに入るのか確定されていません。以前京都府長岡市に消防の広域化について視察に行きましたが、各々異なった退職金制度・役職制度を持つこと、また広域化実施後もシステムが異なり、広域化によるメリットをフルに享受できていませんでした。しかし、財政面が縮小方向にある今、広域化が必要なのはどの自治体も同じ。生き残りをかけてWin-Winの関係が築ける広域化を目指す必要があります。(上の写真は視察先の乙訓消防本部です)

募集しています

久坂くにえを応援して下さる方
この通信の配布などお手伝い下さる方
サポーターを随時募集しています。

お気軽にご連絡ください！お待ちしております

久坂くにえサポーターズクラブ

〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302

TEL/FAX 0467-47-1905

メール:mail@kkusaka.net

HP: http://www.kkusaka.net